

黒大豆エダマメの9月どり作型の確立

～7月から10月までの連続出荷に向けて～

県東部中山間地域での7～10月の黒大豆エダマメの連続出荷を可能とするため、従来出荷のなかった9月どりの作型を検討しました。その結果、中早生品種である‘快豆黒頭巾’（タキイ種苗）を7月上中旬に播種することで、9月上中旬に収穫でき、晩生品種である‘丹波の香’（タカヤマシード）を6月中旬に播種することで、9月中下旬に収穫できることを明らかにしました。

1. 背景と目的

県東部中山間地域では、平成10年頃から黒大豆エダマメ（晩生品種）栽培が導入され、10月上中旬に出荷されています。一方、当センターが開発した技術である春レタス跡の畝およびマルチを再利用した栽培方法によって、早生の黒大豆エダマメが7～8月に出荷されています。しかし、この地域では9月に出荷されるエダマメが栽培されておらず、連続出荷されていませんでした。そこで、出荷のなかった9月どり栽培方法の確立に向けて検討しました。

2. 研究成果の概要

大和野菜研究センター露地ほ場において3ヶ年にわたり黒大豆エダマメの栽培試験を行いました（図）。

その結果、中早生品種である‘快豆黒頭巾’（タキイ種苗）を7月上中旬に播種することで、9月上中旬に収穫できることを明らかにしました。また、晩生品種である‘丹波の香’（タカヤマシード）を6月中旬に播種することで、9月中下旬に収穫できることを明らかにしました（表1）。

これらの成果により、今後は東部中山間地域での連続出荷が可能であると見込まれます（表2）。



図 露地ほ場に作付けした黒大豆エダマメ

表1 黒大豆エダマメ品種別の播種日、収穫適期および収量

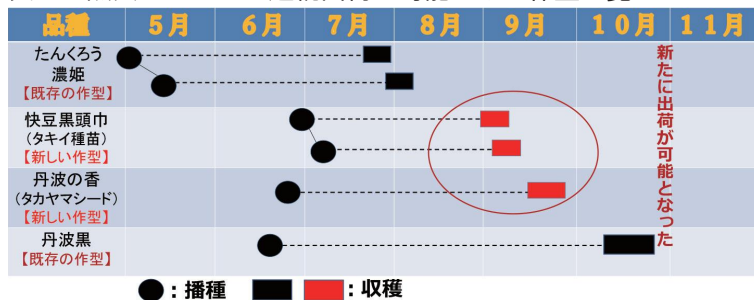
年度	品種名	播種日	収穫適期	収量(t/10a)
2016	快豆黒頭巾	7月5日	9月1日	1.4
	丹波の香	6月9日	9月15日	1.6
2017	快豆黒頭巾	7月13日	9月5日	1.2
	丹波の香	6月15日	9月28日	1.6
	丹波黒	6月15日	10月10日	1.5
2018	快豆黒頭巾	7月13日	9月7日	1.1

3. 実用化に向けた対応

東部農林振興事務所やJAならけんなどと連携して、これらの研究成果を活用することで産地強化を進める予定です。

（大和野菜研究センター 安藤正明）

表2 黒大豆エダマメ連続出荷が可能となる作型一覧



奈良県農業研究開発センター
ニュース No. 156

2019年6月28日発行

編集発行 奈良県農業研究開発センター
TEL 0744-47-4491(代)
FAX 0744-47-4851
URL <http://www.pref.nara.jp/1761.htm>
印刷 株式会社春日